

さいたま市文化財時報

かや  
榎りぼーと  
第75号

本年は、日本で「記念物」保護の取り組みが始まってから100年となる節目の年であることを6月発行の文化財時報第73号でお伝えしました。本号ではさいたま市指定の記念物(史跡、天然記念物)104件(令和元年11月1日時点)の中から天然記念物のイチョウを紹介します。「真福寺のイチョウ」は70件の市指定天然記念物の中で指定時期が最も早い2件のうちの1件でもあります。

今年は11月中旬から12月中旬にかけて黄色く鮮やかに黄葉しました。

イチョウは裸子植物の高木落葉樹で、一般的に雌雄異株であり、雌株は種実を生産します。秋になると葉が黄色く色づいた後、落葉します。種実は銀杏として知られ食用にも用いられます。イチョウの祖先はジュラ紀に繁栄し、いわゆる恐竜の時代に世界の各地にみられました。その後、氷河期の到来による絶滅の危機を乗り越え「生きた化石」とも呼ばれます。水と養分が運ばれる維管束が筋状に見える葉脈が二又に分かれている形状は古代植物に見られる特徴です。

その他にも、枝や幹にある気根(「乳」とも呼ばれる)、精子の形成、銀杏の独特な臭い、耐火性があるなどの特性を有しています。

参考文献：岩谷美苗著『散歩が楽しくなる樹の手帳』/今野敏雄著『イチョウ』(ものと人間の文化史129)/濱野周泰編『イチョウの絵本』

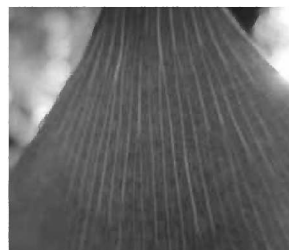
## 真福寺のイチョウ

所在場所/南区別所

推定樹齡/数百年 雄株

昭和33年3月指定

船をつなぐ杭としてイチョウの木杭を逆さに打ち込んでおいたところ、その杭から枝葉を出したという伝説があります。



▲葉脈



▲気根

## 圓蔵院の大イチョウ



所在場所／  
見沼区大字中川

推定樹齡／  
400年 雌株

昭和36年12月指定



▲葉と銀杏

芝川北側の高台にあり、遠方からも望むことができた巨木です。枝下に「乳」とも呼ばれる気根が発達しています。

## 十王尊の大イチョウ



所在場所／  
見沼区大字南中野

推定樹齡／  
250年 雌株

昭和50年2月指定



▲落ち葉

昔から「十王様のギンナンの木」として親しまれ、秋になると銀杏がたわわに実ります。

## 岩槻小学校のイチョウ



所在場所／  
岩槻区本町

推定樹齡／140年

平成19年3月指定



▲記念碑

小学校校庭の真ん中に位置し、長い間、児童の姿を見守ってきました。多くの集合写真の背景にも登場し、学校のシンボリック的存在です。さいたま市景観重要樹木指定第1号でもあります。

## 樹木の大きさの比較

	樹高	胸高周囲
真福寺	18.5	5.85
圓蔵院	28.0	4.50
十王尊	25.0	3.55
岩槻小学校	27.0	5.08

※いずれも指定当時 単位：m

### 樹木調査

さいたま市内には今回紹介したイチョウを含め、市の天然記念物に指定された植物が70件あり、各々3年に一度の頻度で(必要に応じて随時)、専門家立ち合いのもと調査を実施しています。調査結果に基づき樹木のその後の維持管理について検討しています。

※掲載したイチョウの写真は文化財保護課ホームページにてカラー版でご覧いただけます。

## TOPICS

### ●文化財の特別公開を実施しました

文化庁により11月1日から7日までの期間が「文化財保護強調週間」に定められていることから、これにあわせて、指定文化財の特別公開を実施しました。各文化財所有者の御協力のもと、細淵家住宅、加藤家住宅、薬王寺で公開を行い、延べ219人の方が訪れました。

また、桜区白鍬に位置する白鍬宮腰遺跡における第二次調査で発掘された遺物を、土器の館で1か月間公開し、期間中43人が同館に訪れました。

実施日	公開文化財	場所(会場)
11月9日(土)	細淵家住宅主屋・細淵家住宅長屋門	南区沼影
11月10日(日)	加藤家住宅主屋	岩槻区古ケ場
11月16日(土)	薬王寺円空作仏像群	見沼区深作 薬王寺
11月1日(金)～ 11月29日(金)	白鍬宮腰遺跡から出土した遺物 碧玉製勾玉など6点	土器の館



▲細淵家住宅公開の様子(写真は主屋)

大正15年(1926)建築の主屋と明治時代に移築されたと伝わる長屋門を公開しました。近隣の方々だけでなく、団体での見学者も訪れました。



▲加藤家住宅公開の様子

安政6年(1859)頃建築の主屋を公開しました。北沢楽天の半生を描いた映画『漫画誕生』のロケ地としても活用され、映画チラシと共に紹介しました。



▲薬王寺円空仏像公開の様子

薬王寺において円空仏29体を特別公開しました。注目度の高い円空仏が一目に見られるとあって、多くの見学者が訪れました。



▲白鍬宮腰遺跡出土品公開の様子

古墳時代の集落遺跡である白鍬宮腰遺跡(桜区)にて昭和63年(1988)に実施した第2次調査で発掘され、一括して市指定有形文化財となっている遺物の内、6点を公開しました。

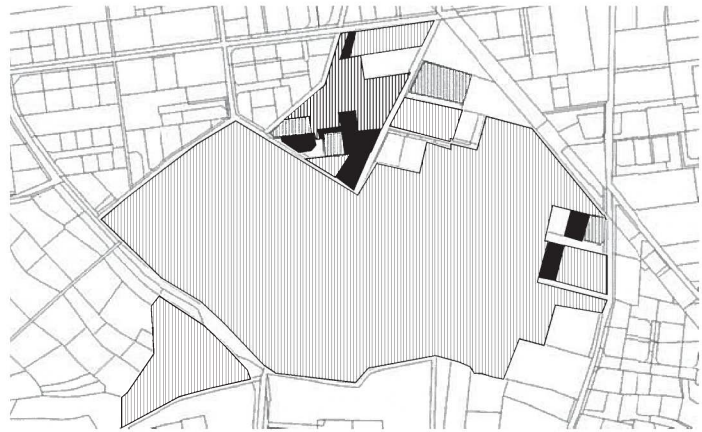


## お知らせ

### □国指定史跡真福寺貝塚が追加指定されました

岩槻区城南にある真福寺貝塚は、昭和50年(1975)に国の史跡に指定されました。

その後、指定地外にあり、重要な部分と判断された場所について、順次追加指定を行っています。平成2年、平成14年、平成28年、平成29年、平成30年に続き、令和元年10月16日付で、11筆(約1,057㎡)が追加指定を受けました。今後も重要と判断された部分について、追加指定を行っていく予定です。



▲真福寺貝塚指定地図面  
※塗りつぶし部分が追加指定地

### □国指定特別天然記念物「田島ケ原サクラソウ自生地」で草焼きを実施します

田島ケ原サクラソウ自生地では、サクラソウの春季の芽吹きを助けるため、毎年1月にオギやヨシ等の草焼きを実施しています。令和2年は下記の日程で実施します。

**実施日**：令和2年1月15日(水)【予定】

**時間**：9時頃から14時頃まで

※天候等により、時間の延長や、翌日以降への延期となる場合があります。

**その他**：令和元年台風第19号の影響で草焼き当日、桜草公園内は関係者以外立ち入り禁止となります。



▲草焼きの様子

## さいたま市内指定文化財等公開カレンダー 令和2年1月から令和2年3月まで

市内各地で指定文化財が公開されます。見学は無料です。見学や公開に関する詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。文化財保護課(048-829-1723)までお問い合わせください。天候等により、中止や延期の場合があります。

名称	日時・場所・時間
木遣歌	1月12日(日) 10時～ 出初式開始 大宮消防署訓練場(大宮区天沼町1-893) 無形民俗文化財「木遣歌」がさいたま市消防出初式に出演します。
ミニ展示 「碧から藍へ」	3月9日(月)～6月12日(金) さいたま市役所第二別館2階(浦和区常盤6-4-4) さいたま市生涯学習「学びのネットワーク」事業の一環として「藍」に関する出土資料を展示します。
田島の獅子舞	3月15日(日) 16時～ 田島氷川社(桜区田島4-12-1) 三頭の獅子が笛の音に合わせて、太鼓を打ちながら優美に舞います。
ミニ展示 「学と貞亮―自生地を遺した二人―」	3月25日(水)～6月30日(火) 浦和博物館(緑区三室2458) 田島ケ原サクラソウ自生地国指定100年を記念した展示第一弾。自生地の保存に尽力した三好学と深井貞亮を紹介します。

さいたま市文化財時報

樞りぼーと

第75号

令和元年12月26日

《編集・発行》

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課

☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号

☎048-829-1723 ㊟048-829-1989

<https://www.city.saitama.jp/>